

第2章 星空探検

はじめに

私たちはいつ頃から空を見上げるようになったのでしょうか？人間は何千年もの昔から空を見上げ、天の動きを観察し、物質的にも精神的にも自分たちの世界というものを作り上げてきました。そして、今から約 400 年前、この世界を一気に広げてしまう出来事がありました。望遠鏡の登場です。これまで、肉眼でしか宇宙を見てこなかった人類は世界が今まで思っていたものと全く違うことに気付きます。望遠鏡で宇宙を見ると、ツルツルだと思っていた月の表面が実は凸凹だったり、ただの光る点だと思っていた天体に環がくっついていることが分かったり、天の川の正体が小さな星の集まりだったり、何千年も知らなかった宇宙の姿がはっきりと浮かび上がってきました。

双眼鏡や望遠鏡は私たちの目に比べて、瞳が大きく（暗いものまで見える）、視力が良い（細かいものまで見分けられる）ので、人間の眼では知りえない情報を私たちに教えてくれます。これらの道具を使えば、地球と同じように太陽の周りを回る惑星たち、10 万個以上の星が集まる星団、星が誕生する現場、星が死んだ跡、銀河など、宇宙は人間の想像を超えるほど多種多様で、美しい姿をした天体たちであふれていることが分かります。これが私たちの住む世界なのです。小さな双眼鏡で天の川のあたりを探検するだけでも、道具の助けなしでは気付くことのできなかつた数々の新しい発見に驚くことでしょう。望遠鏡を使えばもっとたくさんの発見に出会えます。決して大きな望遠鏡でないといけないということはありません。口径 10cm 程度の望遠鏡でも土星の環や木星の縞模様などをはっきりと確認することができます。星空探検がうまくできるようになれば、まだ誰も知らない宇宙の姿に出会うこともできるかもしれません。道具を使うことで私たちの世界は何倍にも広がるのです。

この章は、望遠鏡や双眼鏡などの道具を使って見ることのできる星空について書いてあります。道具の使い方、空の見どころなど、星空探検の楽しみ方や基本を解説しました。星空散歩では気付かなかつたことに気付くと思います。厳密には正確でない表現や内容がたくさんあるかもしれませんが、そこは宇宙のように広い心で許してください。

慣れないと難しい部分もありますが、道具の助けを借りて自分たちの世界を一気に広げてみましょう。